

おごせ 議会だより

12月定例会

- 平物産問題に断固たる措置を!・・・P2
- 激論となった議案(討論)・・・P4
- 補聴器に補助金を(請願)・・・P5
- パークゴルフ場、ゼロカーボンシティ宣言・・・P6
- 町政を問う・・・・・・・・・・P8
- 車いすの観光ガイド・・・・P14

2023.2 No.184

「わ～、すっぱ～い!!」
(越生小学校3年生 越生町めぐりの11月)

平物産問題に対して議会が町に断固たる措置を要求

水沢議員が代表して一般質問 新井町長が答弁し解決への決意語る

問 平物産問題について町は断固たる態度で臨むべきではないか

平物産問題についてメディアでも大々的に取り上げられ、世間の耳目を集めるところとなつています。

40年間も不法占用を続け、本年7月12日の大雨ではそれが原因で川が氾濫し近隣住民に多大な被害をもたらしました。気候変動による災害の多発で、近隣住民は命の危険を訴えています。

また建築基準法及び消防法にも違反し、是正の命令が出されているが無視したままです。それが原因で出火し、近隣への延焼事件もあったといえます。

越生町は不法占用物の撤去について、これまで61回の指導を行ってきましたが、平物産は無視し続けています。テレビのインタビューで住民は「役場が動いてくれなかったのが一番のネック」「越生町が管理する河川なのではつきりしてもらいたい」と口々に訴えています。町は、これまでのような対応には終止符を

打ち、法的強制力のある監督処分を行い、従わない場合には訴訟を行うという断固たる態度をもって臨むべきではないでしょうか。

答 訴訟を検討。以前の態度を改め断固たる決意で解決に臨む

今後の対策について、11月16日に、越生町、埼玉県川越建築安全センター、西入間広域消防組合の3機関による合同会議を開催し、今後の方向性について協議を行いました。さらに、11月26日には、古池地区を対象とした、地元説明会を開催し、今までの経緯と今後の町の対応についてご説明を申し上げ、区民の皆様からご意見をお聞きしました。現在は、弁護士と協議し、訴訟に向けた検討を進めているところで、副町長を筆頭とした「平物産株式会社河川不法占用等対策本部」を設置し、対応にあたっていると承知します。

町といたしましては、私が昨年町長に就任しましたので以前の態度を改めて、断固た

る決意をもって解決に臨んでまいります。

なお、訴訟の目的はあくまでも不法占用物の撤去です。またこの問題を、単に一地域の問題としてではなく、越生町そのものの問題として捉え、越生町には法の正義が存在していることを全国に示しぬき

ます。
(左の写真は昨年7月12日の河川氾濫翌日の様子。平物産の不法占用によって河川が詰まり氾濫の原因となった。隣接する土木会社の水位は首丈まで上がり、2千万円以上の損害が出た)



12月定例会

令和4年第4回定例会は、12月1日から12月6日までの6日間の会期で開催されました。町長から提出された案件は、条例の改正6件、条例制定1件、規約の変更1件、令和4年度補正予算3件、その他1件の計12件でした。慎重審議の結果すべての議案が可決されました。その他、請願1件を採択、同案件の発議について可決されました。

コロナ対策費等の事業確定に伴う返還金等 補正予算が可決

一般会計 2億3542万円増額

令和4年度越生町一般会計補正予算(第6号)		賛成全員	可決
既定の予算に2億3542万円増額で、48億4870万円とする。補正の主なものは、令和3年度の新型コロナウイルスワクチン接種対策費等事業確定による返還金、生活関連水道水路整備事業、基金積立金。			
歳入			
国庫支出金	279万円		
県支出金	229万円		
基金繰入金	△1億1008万円		
繰越金	3億4011万円		
歳出			
議会費	△123万円		
総務費	270万円		
民生費	939万円		
衛生費	2776万円		
土木費	1768万円		
教育費	389万円		
諸支出金	1億7560万円		
令和4年度越生町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)			
既定の予算に1466万円の増額で15億2096万円とする。		賛成全員	可決
令和4年度越生町水道事業会計補正予算(第3号)			
既定の予算に793万円の増額で3億303万円とする。		賛成全員	可決
条例の改正等			
職員の育児休業等に関する条例の一部改正		賛成全員	可決
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正		賛成全員	可決
町長及び副町長の給与等に関する条例及び越生町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正			
期末手当の支給割合を0・1月分増額。		賛成多数	可決
越生町税条例等の一部改正			
越生町国民健康保険税条例の一部改正		賛成全員	可決
基礎課税額などを令和5年度から増額改定。		賛成多数	可決
越生町パークゴルフ場条例(新規)			
越生東2区付近の河川敷内に整備するパークゴルフ場の運営、管理などについて規定。		賛成全員	可決
字の区域を変更すること及び町の区域を新たに画することについて		賛成全員	可決
西和田・河原山土地区画整理事業による工事完了に伴い、区域変更し、新たな区域を区分するもの。		賛成全員	可決
毛呂山・越生・鳩山公共水道組合の規約変更について		賛成全員	可決
議員定数を14人から12人へ削減。		賛成全員	可決

議案第42号に反対します

国保税増税をお願いする立場
議員の報酬は上げられない

木村 好美

議案第42号は、議員の期末手当の額を引き上げるというもの。議員の後継者問題で「議員の報酬アップは必要だ」と言われるのは分かっている。後継者問題については、報酬アップより、社会保険の整備や、政務活動費は必要かもしれない。越生町の沢山の議員は、個人での議会報告、調査、研究、研修会等の費用が相当かかっているのも承知している。しかし、議案第46号は、国保税増税の議案であり、国保運協の皆様も苦しい思いで答申を出したと察する。議員が可決する案件で責任重大。問題なのは埼玉県国保協議会等で昔から国、県に訴えているのに、未だに未来の方針も出さず、自治体に制限ばかりかける現状は遺憾であり、国民に寄り添ってない国の対応にも断固反対。

議案第42号に賛成します

議員のなり手不足解決に報酬アップ拒否は悪影響を及ぼす

水沢 努

これは常に議論の的となる問題だが、私は一貫して賛成の立場から討論に立ってきた。議員のなり手不足という深刻な課題を解決するために必要だという立場からだ。この問題は全国の地方議会が抱える共通の課題である。それゆえ全国町村議会議長会では、これを解決するためには議員報酬のアップは不可欠だとの共通認識が確認されている。確かに厳しい時代の中で、町民に寄り添うために議員も報酬アップを我慢すべきだと主張も分からないではない。しかしながら、そうした厳しい現実にもさらされている現役世代の声を議会ひいては町政に反映させるためには現役世代議員が必要だ。議会が報酬アップを拒否しているという態度であっては、ますます議員のなり手を遠ざけてしまふことにはかならない。

激論となった2議案(討論)

- ◎ 議員の期末手当、アップそれとも凍結？（上）
- ◎ 破綻まじかの国保財政、税率アップそれとも維持？（下）

議案第46号に反対します

今こそ本気で国の財政支援をせめて元の国庫負担に戻せ

高橋 一正

5年後の令和9年に、国保税の全県統一が図られるため、ここで引き上げざるを得ないとの事です。もともと国の財政的な支援無くして国民健康保険の維持はできません。協会健保も事業主と従業員が半々で保険料を負担しています。昔の国庫負担は48%でした。今はおよそ30%程度になっていきます。国はようやく今年から未就学児の均等割りの半額補助を実施しましたが、全国で国保税の均等割りを無くすには1兆円あればできます。軍事費を増やすのでなく、疲弊している国保税に投入してほしいと思います。均等割が無くなれば、協会健保と同様の所得に応じて保険料が決まります。物価が高騰し、賃金は上がらず、年金は引き下げられ、町民の生活は苦しさが増すばかりです。県への働きかけ、国への働きかけを切に願いつつ反対討論とします。

議案第46号に賛成します

税率アップは忍びないが破綻を避けるためにやむをえない

水沢 努

国保制度の持続性は今や限界に達している。このままだと基金が枯渇し制度が破綻する。どこまでも借金に頼って税金をシルバー世代につき込んでいいのかわ。今や国の借金は千兆円を超えている。高齢者が孫の世代、ひ孫の世代のクレジットカードを勝手に使っているのと同じだ。生活が苦しくなる町民のことを考えれば、税率が上がることは忍びない。しかしながら、感情論で政治を行うわけにはいかない。それは悪しきポピュリズムへの道であり、「地獄への道は善意で敷きつめられている」という西洋の諺のように、制度破綻という最悪の結果に町民を誘うものだ。我々は町民から代表として選ばれ、町民の税金で食べている政治のプロである。プロとしての専門的な知見と理性に基づき判断を下すべきだ。

請 願

難聴者の補聴器購入に係わる負担軽減を求めることに関する請願

請願者 河地 修
紹介議員 水沢 努
池田かつ子
岩田 眞一
関根 眞一
長根 弘倫
島野美佳子

請願の理由(要約)

難聴は生活の質を落とす大きな原因となっている。うつ病や認知症の危険因子になることも指摘されている。加齢性難聴者に対する補聴器の普及により、健康寿命の延伸、医療費の抑制にも寄与すると考えられる。

高齢化で、補聴器を必要とする多くの難聴者・高齢者から補聴器が高価で、低所得者や年金生活者は経済的負担が大きく、利用できないという悩みが出ている。わが国の難聴者は推計で1430万人(日本補聴器工業会調べ)に対し、補聴器所有者は約210万人と極端に低い。主な理

由は、障害者手帳を交付されない中等・軽度の難聴者は健康保険等の公的補助がなく、補聴器1台5万円〜50万円と高額のため、日常生活に不便をおぼえながら利用が困難。

欧州諸国は補聴器を「医療のカテゴリー」で対応し、手厚い公的補助だが、わが国は「障がいのカテゴリー」で限定的な対応で、中等、軽度の難聴者に対する公的補助が求められている。いくつかの自治体では、独自の財政的補助事業を実施している。

このことから地方自治法第124条の規定により請願する。

請願項目

1 難聴者の補聴器購入に係わる越生町独自の補助・支援事業を実施すること。

2 「難聴者の補聴器購入に公的補助制度を創設する」よう国に対する意見書を提出すること。

賛成全員 採択

議会最終日に紹介議員から国へ公的補助制度の創設を要望する意見書案が提出された。

賛成全員 可決

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度創設を求める意見書

加齢性難聴者の補聴器購入について、全国統一の公的支援制度を創設するよう強く要望する。

理由

加齢性難聴は、コミュニケーションを困難にするなど日常生活を不便にし、生活の質を落とす大きな原因となるばかりか、最近ではうつ病や認知症の危険因子になることも指摘されている。この間こえの悪さを克服し、音や言葉を聞きとれるようにし、日常生活を快適に過ごすことができるよう補完するのが補聴器である。

日本の難聴者率は、欧米諸国と比べて大差はないが、補聴器の使用率は欧米よりかなり低くなっている。この背景には、日本において補聴器の価格が高額であることに加え、公的支援制度が不十分なことがある。欧米では補聴器を医療のカテゴリーとしてとらえ、両耳の聴力レベルが40デシベル以上の中等度難聴者から補聴器購入に対する公的補助制度が確立されているが、日本においては、両耳70デシベル以上の高度・重度難聴に対して、補装具支給制度により補聴器の購入に必要な補助が行われているが、その対象者はわずかである。

補聴器が更に普及すれば、高齢になっても生活の質を落とさず、心身ともに健やかに過ごすことができ、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながると考えられており、加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助を行う自治体も増加している。よって、国においては、加齢性難聴者の補聴器購入について、全国統一の公的支援制度を創設するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
令和4年12月6日

越生町議会

衆議院議長	細田 博之 様
参議院議長	尾辻 秀久 様
内閣総理大臣	岸田 文雄 様
総務大臣	松本 剛明 様
財務大臣	鈴木 俊一 様
厚生労働大臣	加藤 勝信 様

越生パークゴルフ場

(3頁参照)

越生東4、6丁目地区に隣接する越辺川河川敷地に新しくくくパークゴルフ場がオープンします。

【場所】

越生町大字如意433番

1 (下図)

【オープン時期】

令和5年4月1日

【施設の管理】

施設の管理は、当面は町が行う予定です。

【使用時間】

午前9時～午後4時

【休場日】

毎週水曜日

【使用料】 1日当たり

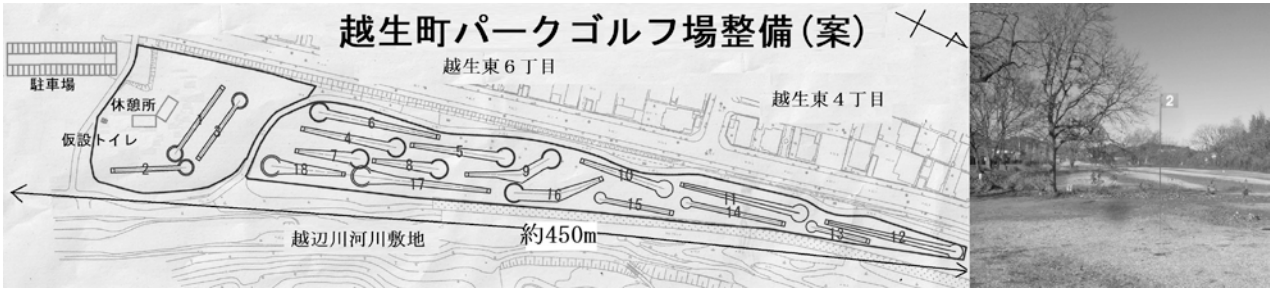
- ・ 町民の方 500円
- ・ 一般・学生 250円
- ・ 中学生以下 250円
- ・ 町外の方は2倍の料金
- ・ クラブとボール 100円

【使用料の免除】

町内に在住・在勤・在学の方は町教育委員会に申請をして使用料が免除となります。

【受付場所】

やまぶき公民館



山並み連携 ゼロカーボンシティ共同宣言



MOTHは3町1村の頭文字

2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して、令和4年12月25日、山並みが連なっている毛呂山町、越生町、ときがわ町、東秩父村の三町一村でゼロカーボンシティ共同宣言をしました。

入間郡・比企郡・秩父郡、この3郡の連携はこれまでになく、「山が連なっている」という古くて新しいつながりに期待が高まります。

森林の管理と活用、環境教育、住民の健康増進、林業再生による地元での雇用創出など、共通の目標と課題の解決に向かって、交流を深めつつ知恵を出し合って、ゼロカーボン社会を実現していきます。

運営協議会設立に向けて、補正予算第6号にて10万円が計上され、可決となりました。

ゼロカーボンとは

二酸化炭素等の温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成した状態のこと。その実現を目指す地方共同体を「ゼロカーボンシティ」と呼びます。



直売所が生まれ変わってArea898に



隣接する子どもの居場所ナゼラボ

視察研修

11月4日 横瀬町

実施したいプロジェクト・取り組みを実現するために、横瀬町のフィールド・資産を積極的に提供することで、「チャレンジする人材が集う小さな町」というブランドを確立した横瀬町。「今までどおり」では未来は変えられないと、ヒト・モノ・カネ・情報を継続流入させるしくみとして平成28年に「よこらぼ」をスタートしました。

審査会は毎月行われ、採択されたプロジェクトは最短1か月で事業を開始。6年で205件の応募があり、119件が採択されました。

横瀬町対策振興プロジェクト、どぶろく特区、ユニバーサル野球など、内容はバラエティーに富み、関係人口創出プロジェクトで「エリア898」が誕生。使用されなくなったJA旧直売所跡地を利活用し、町民と横瀬町にかかわる人たちが交わる交差点として作られました。隣には「LAC横瀬」がオープン。宿泊できるコワーキングスペースで、場所に縛られない仕事人が横瀬町を頻繁に訪れています。

12月定例会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、退は退席、議は議長

議案番号	議案名	議員氏名										審議結果	
		岩田 眞一	長根 弘倫	島野美佳子	高橋 一正	関根 眞一	池田かつ子	金子 公司	宮崎さよ子	木村 好美	水沢 努		宮島サイ子
41	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
42	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	○	○	●	○	●	○	議	可決
43	町長及び副町長の給与等に関する条例及び越生町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	議	可決
44	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
45	越生町税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
46	越生町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議	可決
47	越生町パークゴルフ場条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
48	字の区域を変更すること及び町の区域を新たに画することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
49	毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合の規約変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
50	令和4年度越生町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
51	令和4年度越生町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
52	令和4年度越生町水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
請願 1	難聴者の補聴器購入に係わる負担軽減を求めることに関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	採択
発議 2	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度創設を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決

町政を問う！

☆全質問事項は下記のとおりです☆

◆質問議員と質問事項◆

1 水沢 努

- ① 平物産問題について町は断固たる態度で臨むべきではないか
- ② 地域おこし協力隊の持続的発展のために増強すべきでは
- ③ パークゴルフ場芝刈り業務の住民組織への委託を
- ④ 9月議会で提案した海外とのオンラインを通じた交流授業はどうなったのか

2 木村 好美

- ① 「感染症対策における子どもの全ての権利」について
- ② 大人にも子どもにも「3つの◎」の周知を。通年の挨拶運動について

3 岩田 眞一

- ① 特殊詐欺事件を防ぐには
- ② 町の契約の状況は

4 高橋 一正

- ① 会計年度任用職員制度の問題について
- ② 町民に寄り添った地域公共交通の在り方について

5 池田 かつ子

- ① みんなの図書館

6 島野 美佳子

- ① メリハリある生活で、子どもたちのストレス軽減を
- ② さくらねこ活動の導入を

7 宮崎 さよ子

- ① 令和5年度の予算編成について
- ② 国民健康保険制度について

8 金子 公司

- ① 地域文化財総合活用推進事業について
- ② 地域活性化起業人制度の導入を

9 長根 弘倫

- ① 空き家・空き地について
- ② 災害について
- ③ 高齢者等の町民への支援について

10 関根 眞一

- ① 町長在任、1年10カ月の成果をお聞きます
- ② 町の活性化のため、また経済効果を求めたら、祭りは欠かせないものでしょう



記載した本文は、質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿をそのまま掲載しています。

(別掲の議員名を付した文章も、すべて同様の扱いです)

全文は、図書館等に置いてある会議録か、インターネット(越生町ホームページ内「会議録検索システム」)で閲覧することができます。

一口メモ

一般質問の人数制限はありません。一問一答方式で、一人あたりの質問時間は60分以内です。質問を行う議員は、事前に議長あてに「こんな質問をします」という通告を行います。

海外とのオンライン授業に むけ着実に準備が進む

水沢 努



問 町づくりにおいてもSDGs＝持続可能な開発目標が求められるように、地域おこし協力隊に

おいても持続可能な体制作りが決定的に重要となる。しかし、この制度は隊員に3年間を限度とした極めて短い任期を設けている。ゆえに組織の継続を図るためには、後継者の獲得が必須となる。増強は必要ではないか。

答 地域おこし協力隊が継続して活動に取り組みよう、任期3年を意識したミッション型で持続可能な体制づくりが必要である。議員の皆さまと一緒に視察研修した横瀬町では14名から20名程度まで増やすとのことだった。先行する自治体に学び徐々に拡充を図ってい

きたい。

問 町のゼロカーボンシティ宣言『山並み連携』は説得力のある物語性とキャッチーなロゴなど、

大ブレイクの可能性がある。必要なのは、これを実践へと移す実働部隊だ。協力隊は絶好の組織・人材ではないか。

答 ぜひとも協力をお願いしたい。そのことを通じてキャンペーンをリードする組織体制や人材が育成できたらと思う。

問 9月議会で私が提案した、海外とのオンライン交流授業はどうなったのか。進展状況と展望を。

答 11月24日には、早速、先行して、越生中の3年生がアメリカ・ハワイ州のパールシティー高校とオンラインの交流授業を

行った。パールシティー高校では日本語の授業があり、相手は日本語の学習になったようで、双方にとって有意義な交流になった。今後は、順次、段階的に他の学年でも実施できるよう進めていきたい。授業では自己紹介やテーマを決めて、プレゼン等を行うことを計画している。



ハワイ・パールシティー高校

子どもたちの未来まで責任が とれるのか環境変化は必要だ

木村 好美



問 今回、陳情が提出された。内容は「マスクの着用が身体的、精神的、発達上の問題により出来ない子に対する配慮、子ども、保護者の意思と人権を尊重して欲しい」、「子ども

の【最善の利益を尊重】」、文科省の衛生管理マニュアルに準じ、給食時一言も発することが許されないことがないよう見直して欲しい」と。保護者は子どもの現在及び未来を考えると不安である。マスクの弊害は多くの医師が警鐘をならしている。例えば、自分の吐き出した二酸化炭素がマスク内にあるため酸素が十分に吸えてないことによる弊害。口呼吸になる弊害。心への影響。所沢市教育長や千葉県知事は早い段階か

ら、子どものコロナ対策に対し、「発達と成長」という観点で訴えている。町の今後の対応は。

答 町立保育園では基本的にマスクをしない。保護者の意向を尊重し、マスク着用を希望する場合は顔色等、注意している。黙食についてはコロナ前に戻すことは難しい。友達と楽しく食べられるよう工夫する。

学校では具体的にマスクの着脱について保護者に周知した。感染不安で着用している子は多い。マスクの強要は「子どもの最善の利益」ではない。黙食を指導しているが、食育を推進し様々な工夫をしている。

る方は何%いるのか。

答 保育園、学校とも、一般的な割合2・2%と考える。周知徹底する。

問 町は「3つの◎」を推進しているが、深い意味がある。大人にも広く周知し、共通理解の中で子どもたちを見守るべきでは。特に「あいさつ」については、町をあげての挨拶運動で「埼玉県No.1の町」を目指さないか。

答 地域の方々とともに進めることが効果的なので周知していく。「あいさつ運動」の周知から、町全体運動に繋げたい。



子どもの権利条約

特殊詐欺事件を防ぐには 随意契約の状況は

岩田 貞一

問 特殊詐欺事件を防ぐには、皆様と共に被害の防止策を考えたい。

答 町の過去5年間の被害状況、件数、年代や被害額、どんな手口か。町の対策は。銀行やコンビニなどへの協力量議は。

問 町内では、件数6件、被害総額2129万円。内訳、オレオレ2件、預貯金2件、融資保証金、架空料金請求各1件。

答 年齢的には約9割が65歳以上の高齢者。警察からの防災無線放送とメールや防犯パトによる注意喚起。直近2年は未実施の安全推進協議会との駅前やスーパードパンフや啓発品を配布。呼び掛け、年金支給日に金融機関やコンビニで防犯指導や訓練の支援。

問 広報で積極的に特集、高齢者サークルや地区行事で呼び掛けを考える。

答 県は講師派遣を無料でやっている。HPや広報への掲載や町での活用は。詐欺対応電話機が有効。補助などしてほしい。

問 県職員の出前講座は利用がないが、今後は広報などで周知したい。

答 随意契約の状況についてまちづくり整備課の昨年と今年の樹木伐採契約の件数は、随意契約かその理由は。私は国の契約事務に20年以上関わってきた。国の場合は、随意契約できるのは、判断が厳しく、本件は高額となるので質問した。

問 昨年度15件、今年度4件を随意契約した。都市公園や街路の巨大化した樹木の安全性、道路交通上の支障などから、町内事業者で可能な作業なので、町内4社の見積りで、最低価格業者との契約が有利との理由である。

答 結果として早くて安くできたことで本件は適正な処理と考える。有利な価格での判断を町長は。町長も決裁している。



その電話、サギです!

高橋署が
かわったよ。

高橋署が
あります。

キャッシュカードを
預けかきます。

おまかせ
おまかせ

家にも留守電!!

西入間警察署・西入間地区防犯協会

〇振り込み詐欺撃退チェックシート

〇 悪徳電話の番号が覚った。会社の電話を替っている。

〇 電話の中に、携帯電話が入ったか心を配った。(1分)

〇 会社のお金を貸し込んだ。誰にも聞かずに済ませない。

〇 お金を代わりに替(後社員の誰か)が取りに行く。

〇 携帯電話を持ってATMに行ってください。(遠征)

〇 キャッシュカードを預けたい。(国産銀行・銀行)

〇 あなたのカードが使われています。(複製)

西入間警察署にまず相談!

049-284-0110 0328 110番

特殊詐欺のパンフレット(警察)

ケア労働自治体職員は正規で 地域公共交通の更なる充実を

高橋 正一

問 この夏、日本自治体労働組合総連合(自治労連)が、会計年度任用職員を対象にアンケートを行いました。集計結果を見て町職員の状況を質問します。

答 役場で働く職員数は、全体で177名。

問 内、会計年度任用職員は何人ですか。

答 全体で64名。

問 男女の別と年齢構成。

答 男子12名、女子52名。年齢構成は20歳代以下が6名、30代が4名、40代が15名、50代が16名、60代が22名、70歳以上が1名。

問 勤続年数は。

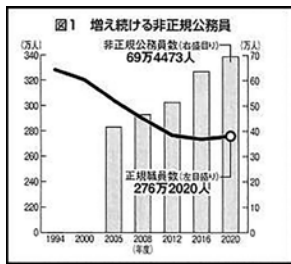
答 2年以上が44名、1年以上2年未満が9名、1年未満が11名です。

問 いわゆる「3年目の壁」を危惧する声が寄せられています。町では。

答 原則「公募」により任用の決定を行っているので、質問にあるような問題は生じていません。

問 アンケートでは、25%の人が「主たる家計維持者」と回答していますが、越生町の状況は。

答 そのほとんどが、家計維持者の配偶者や家族で、それ以外の方でも他に職を持っているなど町の状況には当てはまらないものと考えております。



議会と自治体第295号(2022.11)より

問 鳩山町では「デマンド乗合タクシー」という形式で、自宅から目的地まで行きますが、乗合型のため直接行くことはないので、2000円で済むとのメリットがあります。また、ときがわ町では「乗合タクシー」という形式で、「共通乗降場」が指定されていて基本は地域のゴミステーションとの事です。他町の良いところを取り入れて、町民の利便性を拡げて欲しいと思います。

新しい息吹、豊かな感性を育む身近で明るい図書館へ

池田かつ子



問 令和2、3年度の貸し出し冊数は。

答 令和2年度は39,027冊、令和3年度は48,949冊。

問 令和2、3年度年齢別利用者傾向は。

答 利用者の多いのが30歳以上と12歳以下。13〜29歳までの若者世代が少ない傾向にある。

問 分室の役割と利用状況は。

答 本館まで遠い地区にとって身近で気軽な施設であり、子供から高齢者まで多くの方が利用している。学童保育室が併設し、特に夏休み期間には多くの児童が訪れる。

問 図書館運営に対し利用者からどのような声があるか。

答 把握していない。

問 館内のレイアウトはどのようにしているか。

答 児童書コーナーは死角ができないようレイアウトしている。

問 レインボー協議会のように、越生町と自治体連携を結ぶ都市であれば、互いに図書カードを作成できるような仕組みをつくることで、さらに自治体間のつながりや交流を持つことができるのでは。

答 ある程度の利用が見込めれば積極的に取り組んでいく。

問 感染症拡大防止のためとはいえ、本の検索機がずっと休止のままである。使用できるようにならないか。

答 検索機は多くの方が触ることを理由に開放していない。



図書館子どもまつり

問 図書館員の研修は。

答 県立図書館や入間地区公共図書館協議会主催の研修会に出席。内容は本の修理方法、本の紹介コーナーの作り方、図書館の抱えている諸問題の話し合い等。

問 近隣の視察研修などを積極的に行う考えは。

答 研修は大事であるので積極的に機会を与えるよう考えていく。

息苦しい子どもたち さくらねこ活動の導入は

島野美佳子



問 令和3年の出生数は81万1622人で、日本の少子化と人口減はますます加速している。一方で、不登校、いじめの認知件数は増加。コロナ禍の影響が指摘されており、マスク関連のトラブルも聞く。マスク着用に関する厚労省の事務連絡を受けた後の対応は。

答 越生保育園ではその都度、保護者宛に通知して周知。マスクが不要になったことも丁寧に声掛けしたが、外すことが怖いという声も少なからず聞かれた。熱中症予防には留意した。

問 小中学生のマスク着用状況は。

答 場面に応じたマスクの着脱について子どもたちに指導するよう、教育

委員会から学校にお願いしたが、感染症等の不安があるためか、外してもよい場面でも着用している子どもたちがまだまだいる。

問 持久走におけるマスク着用の状況は。リスクはないのか。

答 激しい運動を行う場合に着用を継続することでの危険性が生じることもある。必ず外すようにと指導する。

問 給食時の黙食は。

答 感染防止の一方で、会話によるコミュニケーションが取れない。今後検討していく必要があるが、感染状況を慎重に見極めながら判断していく。

問 町内の路上で死亡する愛護動物の数は。

答 令和元年度は22件、

2年度は27件、3年度は25件、4年度は10月末現在17件。すべて猫。

問 さくらねこ活動の導入は。

答 飼い主のいない猫に不妊去勢手術を施して増やさないようにし、適切に管理するさくらねこ活動に自治体の経費負担はないが、ボランティア団体の大きな力が絶対的に必要。協力を募っていくことが先決。



手術した印のさくらみみ

ウクライナ戦争、物価高騰、 円安など地方交付税に影響は

宮崎やよ子



問 過去の交付税を調べてみましたが、令和2年度が予算で、11億5千万円、3年度が12億円、4年度が13億4千万円と、予算額が増加している。令和5年度も今年度並みという説明でしたが、今後この傾向は続くものか、

と、ウクライナ戦争、物価高騰、円安など、地方交付税への影響についての見解は。

答 地方交付税は法人税・所得税の33%、消費税の19%などの決まった割合が原資となる仕組みのため、簡単に言えば景気に左右されます。ウクライナ戦争、物価高騰、円安は企業の業績にも悪い影響を及ぼし、その影響は2年後の交付税から出てくるのではないかと考えています。

問 予算査定で歳入と歳出の「3億円から4億円」の差額は大変大きな金額です。そこで、その差額をどのように埋めているのか。

答 まさに、これからの一番の課題は高度経済成長期に整備された施設が、同時に老朽化していく問題だと思っていて、道路、橋、水道、公共施設など、いかに修繕して、いかに長寿命化を図っていくか、それが大きな課題になると思っています。

問 経常的な経費は削れる部分も少ないので、投資的な経費を削らざるを得ないのが現実です。そして、これ以上削れない状態となったら財政調整基金や公共施設整備基金などを有効に使って歳入歳出の調整をしていくこととなります。

問 文化庁の「地域文化財総合活用推進事業」で7132万9千円が交付され①山車解体修理等、離子連の用具・衣装等の修理・新調②獅子舞保存会(4団体)それぞれの用具の修理・新調③里神楽保存会の用具の修理・新調が行われています。来年度町民の皆様にお披露目していただきたいものです。

答 修理・新調前後の写真を掲げ、事業成果を報告する機会を設けるなど「ピフォーアフター」が分かるような仕掛けを関係各位にお願いしたいと考えています。

問 広報おごせに掲載されている越生浪漫は町の郷土資料で貴重な文化資料であります。ぜひこの貴重な資料を本や映像の形にして残していきたいませんか。

答 歴史や文化財の映像保存に関しては行政としては未着手、未開拓の分野です。町のPR動画など紹介することから始めたいと考えております。

問 「地域活性化起業人」制度は幅広く地域活性化の課題に対応して、地域活性化を行う企業人材を派遣する制度です。越生町としては、民間のスペシャリスト人材を活用して地域の課題解決を期待できます。導入してはいかがでしょうか。

答 町といたしましても、本制度には大変興味があり、ぜひ取り組んでいきたいと考えております。現在町ではデジタル技術やデータを活用し住民の利便性を向上させるとともに、役場内の業務効率化を図ることで、人的資源を行政サービスのさらなる向上に繋げていくため、自治体DXの推進に取り組んでいきたいと考えています。



町の財政を担う企画財政課

問 今後、人口減少や少子高齢化などが進むと、更に予算編成は厳しさを増していくと思われるが、その時に一番課題となっていくものは何か。

答 町といたしましても、本制度には大変興味があり、ぜひ取り組んでいきたいと考えております。現在町ではデジタル技術



東山神社獅子舞

空き家空き地、災害について、 高齢者等への町からの支援

長根 弘倫



問 町内における空き家、空き地の数を把握しているか。

答 実態調査では、空き家数は264件、空き家率は、5.3%の結果でした。なお、空き地の数は、把握しておりません。

問 移住に関する町への相談件数は、何件か。

答 令和3年度の相談件数は、把握していないが、空き家バンクに新規物件の登録を行った際には、1日5件以上あり、累計成約件数は、60件です。

問 管理不全となった危険性の高い家と、処理された物件は何件か。

答 管理不全と評価された空き家は、15件でこのうち9件については、取り壊し等により改善されており、引き続き対応す

るよう指導しています。

問 もう住めない家と土地を購入した場合、家の解体費用として補助金が出る制度は作れるか。

答 家屋解体の補助金は目的「リフォーム、家屋解体」によって違い、難しいと考えております。

問 横瀬町で行っている『よこらば』の中で採択された、空き家対策が有るが、導入の考えは。

答 空き家バンクを実施する中で、形態は異なるが同様に実施しています。

問 7月の集中豪雨で、町の被害数は。

答 床上浸水が4件、床下が7件、土砂災害2件、道路冠水等20件です。

問 運動公園のU字溝と手洗い所の排水口の詰りは直せるか。

答 確認の上対処します。町営バス2路線の他町へのアクセスまた、タクシー券での他町への医療機関、スーパー等への乗り入れの検討をしたか。

答 バス利用は、政策的な配慮からまた、タクシー利用は、利用範囲の拡大を求める要望が届いており、検討を重ねましたが、将来的な住民生活を考え、現行の利用範囲とさせていただきます。

問 選挙公約23件の途中経過を確認したい。「町に何も変化がない」という声を耳にするが、それが徐々に大きくなっているようだ。町長はそれをどう考えるのか。

答 町民の安全を考え、小杉の太陽光発電現場の危険を見直し、条例を策定した。

問 選挙公約で、「町民の意見を尊重し、職員の手を最大限に活かす」とある、目覚めた者、育った者は居るのか。その具体的な成果はあるか。

答 意識改革は、職場へ朝晩の声掛けで確実に変わって来ていると思う。年頭の、町長訓示では、行政サービス向上のため細かく説いている。女性管理職の登用を積極的に

問 コロナ対策の成果を聞きたい。コロナ禍では先頭に立つのは首長としては当然で、結果が他町と比較して、感染率が低い、感染者が少ないというれば成果だが、報告を受け現場に、どんな指示を出したのか。

答 ワクチン接種の組み合わせを見越し緩和した。県との連携で抗原キット2か月間無料配布をした。

問 各戸に配布された町勢要覧に公共施設と町の地図が載っていない。最終判断は町長がしたものと考えられる。ならば、その理由があるか。

答 確かに地図と公共施設の所在等は書いていない。気になったが、同様な町勢要覧は他市町にも

関根 真一



あり。今の傾向かと思いき、決裁したが、必要ならば、別刷りのチラシを折り込むことはできる。

問 越生まつりの開催実現を強く望む。「越生まつり」を来年はやるぞ。という意気込みを聞きたい。

答 私も法被を着て、皆様の前で挨拶をしたい、本当にしたい。それが子供の頃からの思いです。ぜひ実現したい。



横瀬町「よこらば」の研修



選挙公約と町勢要覧

たとえ障がいを負っても
アスリートの心意気は変わらさず

テレビや新聞にも登場し、今や「車いすの観光ガイド」として町の顔となった川崎政春さん。障がい者だけでなく、困難に立ち向かう全てのの人々に希望を与えています。

娘と顔振峠に登った！

★どうして障がい者に

自宅の2階の屋根を高圧洗浄機で掃除中、足を滑らせ転落してしまいました。ペンキ塗りなど、屋根の上での作業



さくらの山公園で観光ガイド

はよく行っていました。山登りには慣れていたのですが、過信は禁物ですね。落ちた段階でもう下半身がまるで動かず、これはかなりヤバいと直感しました。その日から僕の障がい者生活は始まりました。最初はずっと寝たきりになるのではという不安の日々でしたが、リハビリで車いす生活が可能となりました。

★トレイルランナーでした

長距離を走るのが好きで、フルマラソンはもちろん、百キロマラソンなどにも参加しました。また山登りも好きで、休日になると山に登っていました。その両方を合わせた競技が山を走るトレイルランです。僕はその魅力に取り憑かれています。世界的クライマーの長谷川恒夫さんを記念して行われるハセツネCUP（総距離71・5km）にも参加し、年代別の入賞をめざ



越生町トレッキング部所属
元トレイルランナー
川崎 政春さん

して、暇さえあれば山を走っていました。そんな中で下半身不随。最初は本当に大ショックでした。

★今は車いすの観光ガイドに

元々走るのが好きなので、リハビリも兼ね車いすであちこちに行っていました。町内や周辺の町だけでなく、川越や飯能などにも。そんな僕に観光協会から「観光ガイドをやってみないか」との声が。確かに町中を動き回っているので観光客の方とよく出会います。やってみると、とてもやりがいがあります。お客様のお役に立てるだけでなく、コミュニケーションも楽しめます。足が動かなくても挑戦は可能です。先日はNHKの取材もかねて、娘と顔振峠に登山。転倒すると起き上げれないので娘は頼りになりました。これからも前を向いて走り続けます。車いすです。

議会を傍聴
しませんか

しませんか

町議会には、年4回（3月、6月、9月、12月）開かれる「定例会」と、必要がある時に開かれる「臨時会」があります。どちらも一般公開され、傍聴することができます。

議会議員が、議会ですんなり活動をしているかを直接見たり、聞いたりすることができ、町の動きを知ることが出来ます。議会の開催情報などはホームページに掲載しております。「越生町議会」で検索してください。



議会傍聴者数

本会議	傍聴人数
12月1日(木)	7
12月5日(月)	29
12月6日(火)	22
合計	58

編集後記



東京オリンピックが一年遅れで開催されたのが2021年夏。無観客など感染予防のために異例の開催だったことを思うと、2022年サッカーワールドカップは別世界のようでした。満席のスタンド、響き渡る歓声、抱き合って喜ぶ姿。一方で、日本の子どもたちはまだまだ日常を取り戻せていないようです。常時マスクで、秋の爽やかな空気を胸一杯吸い込むこともなく、季節が過ぎてゆきました。子どもの心身の健康のために、まずは大人がメリハリのある生活を見せていかなければと思います。

(島野美佳子 記)

委員長
副委員長
委員

アドバイザー
議長

- 水沢 努
- 木村 好美
- 金子 公司
- 池田かつ子
- 関根 真一
- 高橋 一正
- 島野美佳子
- 長根 弘倫
- 岩田 真一

宮島サイ子

